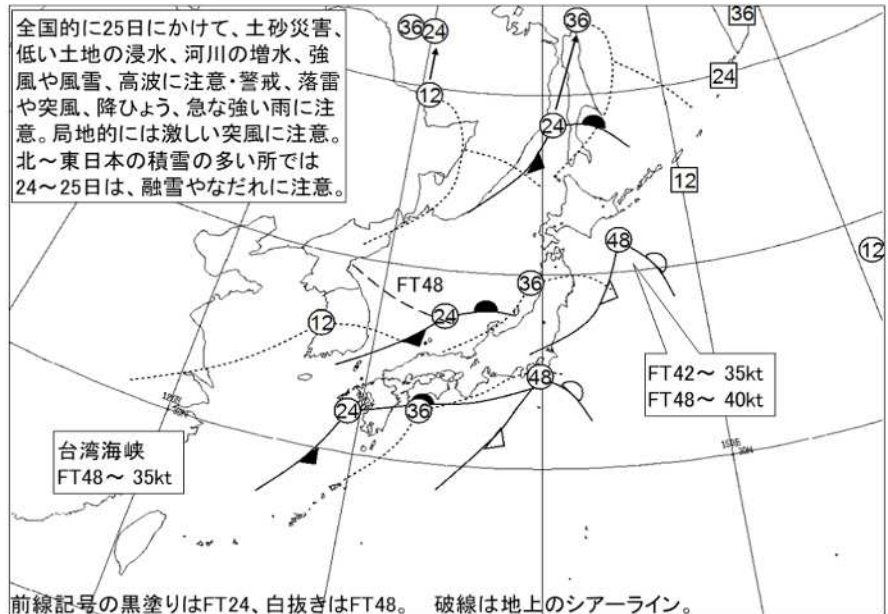


1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5400m付近のトラフに対応し、前線を伴った低気圧が中国東北區にあって、東北東進。
- ② 前線が華中から黄海にかけてのびている。
- ③ 東シナ海から南西諸島付近は地上の気圧の谷となっており、周辺では激しい雨を解析。
- ④ 千島近海に高気圧があって、東へ移動。高気圧の縁辺では気圧の傾きが大きくなっており、東～西日本太平洋側と南西諸島ではやや強い風が吹き波が高くなっている所がある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧の閉塞点上に発生した低気圧が、24日はサハリン付近を北上する。また、500hPa 5580m付近のトラフに対応し、23日夜までに1項②の前線上の朝鮮半島付近に低気圧が発生し、日本海を通り24日夜は北日本、25日夜は千島近海へ進む。さらに、500hPa 5700m付近のトラフに対応し、24日朝までに東シナ海で前線を伴った低気圧が発生し、25日にかけて本州の南岸を東進する。これらの前線や低気圧に向かって下層暖湿気が流入し、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った強い雨や激しい雨が降り大雨となる所がある。南西諸島では24日にかけて、東～西日本では24～25日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風、降ひょうに注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。850hPaで平年差+10℃以上の下層暖気が流入するため、北～東日本の積雪の多い所では24～25日は、融雪やなだれに注意。
 - ② 25日は、日本海西部に地上のシアーラインが顕在化する。また、500hPa 5220m付近の-36℃以下の寒気を伴うトラフに対応して25日夜までに日本海に低気圧が発生し、発達しながら北東進する。低気圧やシアーライン周辺では、下層暖湿気と上空寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となる。北～西日本では25日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。北～東日本日本海側では25日は、土砂災害に注意・警戒。
 - ③ 2項①・②の前線や低気圧の周辺では気圧の傾きが大きくなり、強い風や局地的には非常に強い風が吹き、波が高くしける所がある。北～西日本では25日は、強風や風雪、高波に注意・警戒。北日本では24日は、東～西日本では24日にかけて、南西諸島では25日にかけて、強風や高波に注意。
- 3. 数値予報資料解釈上の留意点** 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。
- 4. 防災関連事項〔量的予報等〕**
- ① 雨量(18時からの24時間)：東海・近畿120、九州北部・沖縄100mm。
 - ② 降雪量(18時からの24時間)：多い所(注意報級以上)はない。
 - ③ 波浪(明日まで)：北海道・関東・伊豆諸島・東海・近畿・四国・沖縄3m。
- 5. 全般気象情報発表の有無** 発表の予定はない。